

白石町長
コラム
Vol.49

「不易流行」

くよき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を開きながら(流行)によって

「理想」を創造する

平穏な日常が戻ることを祈って

長い梅雨が開けたと思ったとたん、暑い夏がやって来ました。そんな8月、江府町内で3つのイベントが開催されました。まずは9日、江府町総合体育館での第49回江府中学校吹奏楽部定期演奏会です。通常なら3月に開催される予定でしたが、延期となった5月にも実施できず、結局8月まで持ち越されました。少ない部員数で複数の楽器を掛け持ちしての演奏。賛助演奏者の協力もあり、素晴らしい演奏会になりました。次に10日、エバーランド奥大山で、山の日ロックフェスが開催されました。初めての山の日から連続4回、江府町観光協会の主催による野外音楽フェスティバル。天の蛍二代目波留イメーじガールのRINAさんも新曲を披露されました。そして17日、本来であれば江尾十七夜が盛大に行われる日です。これも観光協会の主催で東祥寺を会場に、



▲こだいぢ踊りででの挨拶の様子

太鼓と唄に合わせてこだいぢ踊り保存会のみなさんの祈りの舞が無観客で披露されました。亡き江美城主蜂塚右衛門尉を始めとしたご先祖様への供養、五穀豊穡祈願、そして、新型コロナウイルスの早期終息への願いを込めて。その様子はインターネットで全世界に発信されました。いずれのイベントも、人と人との十分な間隔をとり、検温や手指の消毒の徹底、マスクの着用等、新型コロナウイルス感染症対策が十分にとられていました。関係者のみなさんのご苦労、ご努力に敬意を表するとともに、一日も早く平穏な日常が戻ることを祈りたいと思います。

「信頼され、期待に応える役場づくり」プロジェクトチーム(※)活動報告

白石町長が2期目の所信表明に掲げたことのうち、「信頼され、期待に応える役場づくり」を役場全体に浸透させていくための推進力とする

とを目的として、新たにプロジェクトチームが8月20日からスタートしました。

町長をプロジェクトチームリーダーとし、役場内から5名のメンバーが選任されました。プロジェクトチームが担

う使命は「クレドの制定と運用の道筋をつけること」。クレドとは、江府町役場職員の行動指針、社訓のようなものです。クレドの制定にあたっては、「①縦割り、無関心の打破」、「②レスポンス(回答、反応)の速さ」、「③確実な引継ぎ(つなぎ)」、「④情報発信力の強化と役場外との協働」、「⑤やらなくてもいい仕事の削減(コロナ



▲「信頼され、期待に応える役場づくり」プロジェクトチームメンバー
(写真左から:梅林徹【総務課】、橋谷遼【福祉保健課】、大岩寛明【総務課】、白石町長、生田志保【福祉保健課】、中川敦紀【建設課】)

後の世界を意識)の5つの事項を意識しています。今後の進捗状況については、このコーナーで定期的に紹介をしていきます。

※「信頼され、期待に応える役場づくり」プロジェクトチームとは・・・町長をプロジェクトリーダーとし、町長により選任されたメンバーで構成。令和2年8月20日に結成し、「信頼され、期待に応える役場づくり」について課を越えて取り組む。